



Q

小学生のうちの子は友達ができず、自分に自信が持てません。習い事で得意なことを身に付けたいですか。

A

何かができるから自信が持てるというより、友達と遊べるような機会を作ってあげたらどうでしょうか。

友達に認められて

子供が自信を持って生きるには、人より何かができるから、というわけではありません。勉強ができるから自信が持てるというわけでもなく、自分の存在を認めてくれる友達がいて、友達に承認されることが自信になるのです。

小さい頃は、親子関係を根に社会性を培うために友達とかかわることが必要です。その中で社会性を体得していくからです。子供同士の小さな社会をつくり、その中で通用するルールを決め、役割を果たすようにしな

ければなりません。それを一生懸命やって、仲間内に認められて達成感を味わったり、互いに助け合うなど道徳観を学んだりして、それが自信につながります。だから、遊びは子供の成長に不可欠です。「よく遊び、よく学べ」というように、先に「遊ぶ」ことが重要なのです。

遊べる環境づくり

今は遊ぶ場所がなかったり、友達と時間が合わなかったりで、ついゲームで一人遊びをするようになります。しかし、それでは子供同士の生身のかかわりが少なく、社会性が育ちませ

ん。これで子供の健全な成長発達ができるのか不安です。

昔と違って、今は親や大人が子供が遊べるような仕掛けをする必要があるようです。自宅の一間を開放して遊ばせている親御さんもいますし、知り合いの親子を招いて家族で遊ぶきっかけを作っている方もいます。

「大事なことは遊びから学んだ」というくらい、遊びを抜きにして子供の健やかな成長は望めません。友達を作るために習い事に行く子供もいます。習い事をするなら、並行して遊び友達にも配慮してあげるといいですよ。